

投資事業評価調書（新規）

部課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 國塚 康平 (中島 勉)	内線	4 3 8 9 (4401)
------	-------	---------------------	------------------------	----	-------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	2.7億円
		特定交通安全施設等整備事業(国)250号	たつの市御津町室津	内用地補償費	0.7億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
たつの市御津町室津			平成20年度	平成20年度	平成21年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 長距離、長時間運転に伴う交通事故を防止するため、安心して自由に立ち寄り休憩出来る簡易パーキングと情報案内の場を提供するとともに、パーキング予定地前の線形改良を行い、安全性及び快適性の向上を目的とする。			1. 簡易パーキング整備 A = 2,590 m ² 道の駅「(仮称)御津」として地域振興施設と一体整備(全体 A=9,000 m ²) 2. 道路線形改良 線形改良、右折車線設置 L=0.24km		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 快適性・ゆとり その他	交通安全対策の推進 ・自動車交通量が多い(7,807台/日) ・周辺に休息のための駐車施設、休息施設が無い。 ・簡易パーキング予定地の道路線形が設計速度40kmを満たしていない。 ・平成13~17年度の5年間で的人身事故件数は19件と多い。 道の駅としての機能 ・地域振興施設 ・駐車場 小型車20台、福祉用2台、大型車1台、自動二輪車10台(24時間利用可能) ・トイレ 12器(オストメイト対応 2器) (24時間利用可能) ・道路情報提供システム設置予定 ・播磨灘を望む親水性に溢れた開放的な施設計画 ・地域振興施設との一体整備により「道の駅」としての機能を充実 ・道の駅はたつの市新市建設計画に位置づけられた基幹的事業であり、合併前から御津町において検討が進められてきた経緯があり、たつの市から簡易パーキングの整備と「道の駅」の登録に強い要望がある。 ・西播磨県民局が推進する「西播磨なぎさ回廊計画」(平成17年3月)において、魅力あるなぎさを創り出す事業の一つとして位置づけられている。				
(2)有効性・効率性	・疲労運転、夜間運転による交通事故の減少。 ・「道の駅」としての「休息」、「情報交流」、「地域の連携機能」を持つことにより、道路利用者の利便性に大きく寄与する。 ・たつの市が道の駅の事業主体となる。				
(3)環境適合性	・商業施設跡地を利用することにより、海岸環境への影響を最小限に抑え、自然公園区域内にふさわしい景観との調和に配慮した植栽を施し、駐車場と建物とを連絡する通路には透水性舗装を採用する。				
(4)優先性	・当路線は風光明媚な海岸線に沿った路線であり観光を目的とした自動車交通量が多いにもかかわらず、休息のための駐車施設が無い状況である。 単なる休息機能だけの駐車場ではなく、「情報交流」「地域交流」の2つの機能を付加し、道路利用者の利便性向上と交通事故の削減を図るため、簡易パーキングを早急に整備する。				

事業箇所図



事業箇所

道の駅

(国)250号 (たつの市御津町室津)

(国庫補助事業)



線形改良

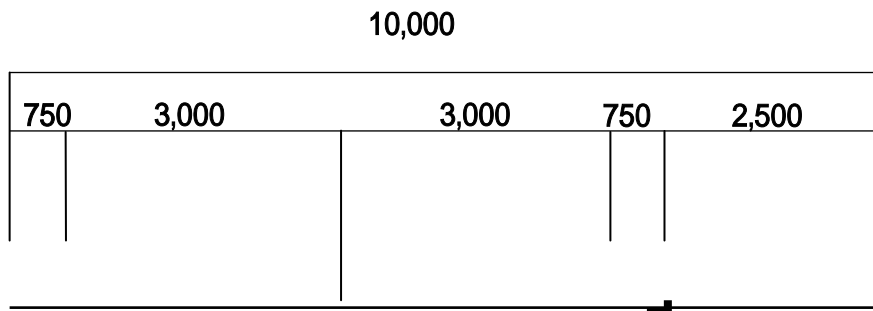
(国)250号 L=240m W=10.0m



道の駅

標準断面図

線形改良 L=240m



事業スケジュール

工種	平成20年度				平成21年度			
詳細設計	■							
用地買収		■						
簡易パーキング			■	■	■			
線形改良				■	■			

現況写真

国道250号 西側から



南側(海側)から



完成予想写真(合成)

国道250号 西側から



南側(海側)から

